

新年

明けましておめでとございます。

皆さまには、希望あふれる輝かしい新年を健やかに迎えのことで、お慶び申し上げます。

昨年は、玖波小学校が完成し、市内すべての小中学校の校舎の耐震化が完了しました。

未来のまちづくりを担う「大竹っ子」たちが、安心して学べる体制が整い、まちの魅力がまた一つ増えました。

これからも、晴海臨海公園の整備や大竹駅周辺整備を進めながら、新しい魅力づくりに取り組んでいきたいと考えています。

今は、支える人より、支えられる人が多くなる、大変厳しい時代です。それでも、立ち止まることなく、少しずつでも前に進んでいくことが大切です。

常に将来を見据え、工夫を凝らし、魅力ある「大竹」のまちづくりのために、今やるべきことをしっかりと取り組んで参ります。

そのためには、行政だけでなく、大竹に関わるすべての皆さまが知恵と力を結集して、それぞれの役割を担うことが必要だと思っています。

市民の皆さまが、笑顔で元気に、輝ける人生を過ごしていただけるよう、信頼という絆を大切に、そして、皆さまとの共感が持てますように、これからも汗をかいて参りたいと考えています。

引き続き、市政運営に対しまして力添えをお願いいたします。

本年が平穏で素晴らしい年でありますよう、また、皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

「信頼」と「共感」を力に、
皆で手を取り合い、
魅力ある大竹に。

大竹市長
入山 欣郎

謹賀

明けましておめでとうございます。

皆さまには、輝かしい希望に満ちた平成30年の新春を健やかにお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

我々、大竹市議会は「議会改革調査会」で重点的に取り組んでいます。議会のICT化を、平成30年度から2年間、会議システムを導入して試行します。議員は、貸与されたタブレットにより、即座に多様な情報の共有ができ、ペーパーレス化、業務の効率化、会議の円滑化が期待できます。

もう一つの重点目標である議会基本条例の制定につきましては、県内の各議会でも徐々に制定されています。大竹市議会としましても、いつの時代の議会でも、いつの時代の議員でも、不変的に改革を進めて発展していくために、早期の制定に向けて引き続き努力して参ります。

また、米軍再編に伴う厚木基地から岩国基地への米空母艦載機部隊の移転に対しまして、「基地周辺対策特別委員会」を設け、昨年8月に「岩国基地周辺市における課題に関する要望書」を内閣総理大臣・関係三大臣宛てに提出し、「基地周辺自治体の実情に応じ、今後も十分な財政措置を講ずること」を求めました。安心・安全が後退するような現象を見逃さないように、県境を越えて山口県の自治体とも連携して、チェック機能を果たします。

これら環境整備以外にも、財政課題、人口減少、超高齢社会、地域コミュニティの希薄化など市政課題は多々ありますが、大竹市議会は活発な議論を重ね、合議制に則して市民の皆さまが実感できる成果を目指して参ります。

この1年が皆さまにとって幸多い年となりますことをお祈りいたしまして、新年のごあいさついたします。

活発な議論を重ね、
市民の皆さまが実感できる
成果を目指して。

大竹市議会議長
児玉 朋也

